

幼児教育学科

科目名: 音楽表現演習			担当教員 氏名: 山本 二郎						
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
2	2年次 後期	専門科目	演習	選択					
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
保育・教育現場における音楽教育に役立てるため、歌やピアノ、各楽器の演奏技術を高めながら自らの感性を磨いていく。そしてソロやアンサンブルを含めたコンサートを企画し、学内外での実施を目指す。					音楽と子ども 感性 演奏技術				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリクスで示される番号)		3. 4. 6. 7. 8. 10					
B 専門的技術		歌やピアノ、各楽器の奏法を学び、演奏技術を身につける。							
F チームワーク・リーダーシップ		アンサンブルの練習や発表を通して協調性、積極性、責任感を培う。							
H コミュニケーション力		コンサートにおける子どもたちとの交流、触れ合いによってコミュニケーション力を身につける。							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	50 %	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項:「その他 50%」の部分では授業における学習態度を評価する。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習		ディスカッション、ディベート		グループワーク		プレゼンテーション	実習、フィールドワーク		
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 発表は別に定めた日時に行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①ガイダンス(授業の内容説明)				各楽器奏法の習得	60分以上				
②2回のコンサートを企画し、内容、役割を作成				プログラム考案	60分以上				
③実技演習1(アンサンブル中心)				アンサンブル奏法の習得	60分以上				
④実技演習2(アンサンブル中心)				アンサンブル奏法の習得	60分以上				
⑤実技演習3(アンサンブル中心)				アンサンブル奏法の習得	60分以上				
⑥実技演習4(ソロ中心)				各楽器奏法の習得	60分以上				
⑦実技演習5(ソロ中心)				各楽器奏法の習得	60分以上				
⑧Aプログラムの通し演習と振り返り				プログラムの振り返りとまとめ	60分以上				
⑨実技演習6(アンサンブル中心)				アンサンブル奏法の習得	60分以上				
⑩実技演習7(アンサンブル中心)				アンサンブル奏法の習得	60分以上				
⑪実技演習8(アンサンブル中心)				アンサンブル奏法の習得	60分以上				
⑫実技演習9(アンサンブル中心)				アンサンブル奏法の習得	60分以上				
⑬実技演習10(ソロ中心)				各楽器奏法の習得	60分以上				
⑭実技演習11(ソロ中心)				各楽器奏法の習得	60分以上				
⑮Bプログラムの通し演習と振り返り				プログラムの振り返りとまとめ	60分以上				
使用テキスト:				その他参考文献など:					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									